

炭鉱技術海外研修事業

～ 世界に誇る技術力を釧路から世界へ ～



坑内実習(釧路)

【事業の概要】

2002年度より、海外炭の安定供給確保を目的に、中国、ベトナム、インドネシア、コロンビアの炭鉱に対して、「生きたヤマ」でこそ学べる我が国の優れた坑内掘り炭鉱技術の移転を進めるため、国の施策に基づき、「産炭国に対する石炭採掘・保安に関する技術移転事業」を実施しています。



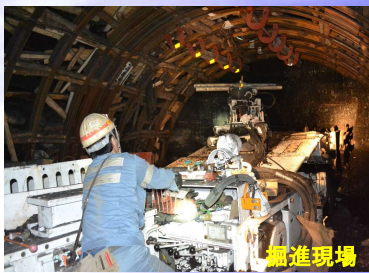
鉱山救護研修(釧路)

【事業の実績】

過去20年間で約4,000名以上の炭鉱技術者を受入れ、釧路炭鉱で培われた保安生産技術が海外の様々な炭鉱現場でも多く活用された結果、各国における災害率が大幅に減少するとともに、生産能率の向上にも大きく貢献しています。

払い跡充てん炭酸塩鉱物化実証試験

～ 国内唯一の坑内掘り炭鉱だからこそできる新しい挑戦～



掘進現場



釧路火力発電所



石灰灰運搬

払い跡(石炭採掘跡)は、空気に触れて自然発火することを防止するため、鉱業法、鉱山保安法で密閉・充てんが義務付けられています。充てん剤として使用する石灰灰中の成分Ca、Mg等とCO₂を反応させ鉱物化することで払い跡の充てん強度を高めるとともに、CO₂が漏出しない安全で強固な密閉技術、集中監視技術を確認するため、研究所・大学の専門家・研究者の協力を得て実証試験に取り組んでいます。「石炭の利用」と「利用後のCO₂削減」をセットで考え、炭鉱だからこそできる、環境負荷低減の新しい挑戦を進めています。



払い跡充てん

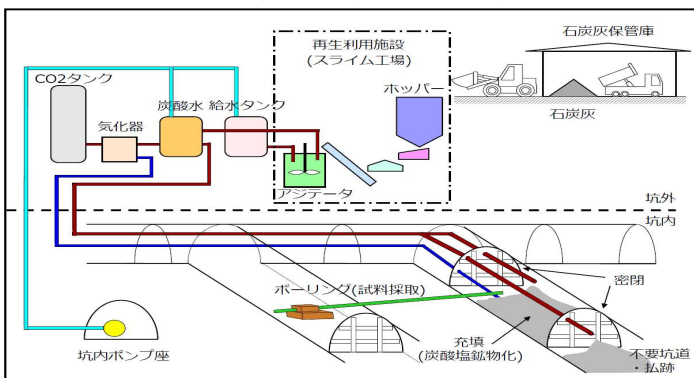


再生利用施設(坑ロスライム工場)



石灰灰保管庫

CO₂炭酸塩鉱物化フロー図(案)



CO₂回収・削減事業将来構想

